

# 令和6年度 香川県立図書館の図書館評価

## I 図書館評価の概要

香川県立図書館では、運営の改善と図書館サービスの向上を図るため、図書館運営に関する評価の指標及び目標を設定し、運営状況について評価を行う「図書館評価」を実施した。

<総括>

- 評価指標の数値目標の達成状況は、16項目のうち、評価A(数値目標の達成率100%)が8項目、評価B(数値目標の達成率80%以上100%未満)が7項目、評価C(数値目標の達成率80%未満)が1項目となった。
- 重点目標「1. 図書館資料の整備充実」のうち、蔵書冊数については、県民の課題解決支援に役立つ資料や調査研究に必要な専門的資料などの幅広い収集に取り組み、数値目標を達成した。郷土資料受入冊数については、積極的な収集に努めたが、数値目標を達成できなかった。引き続き、県民に必要な資料とされる資料や市町立図書館等への支援に必要な資料の整備充実に努める。
- 重点目標「2. 図書館サービスの充実、強化」については、11項目中4項目について数値目標を達成した。入館者数については令和5年度に続いて40万人を超え、レファレンス件数についても増加した。新規登録者数や個人貸出冊数等7項目については、目標を達成することができなかった。入館者数については回復基調を持続させ、新規利用者登録や資料貸出の増加に結びつけるために、サービスの充実とその広報に努める。
- 重点目標「3. 読書普及活動の充実」及び「4. 文化活動の推進」については、3項目とも数値目標を達成した。ホームページアクセス数が、令和5年度より増加した。移転開館30周年にあたりイベントの開催回数が増加した。引き続き、ホームページアクセス数増加に向けてコンテンツの充実をはかる。また、関係機関と連携・協力し、県民の多様なニーズに対応した展示、イベントの開催に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,145,000冊	1,145,346冊	100.0%	A
	② 郷土資料受入冊数	2,250冊	1,853冊	82.4%	B
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	400,000人	401,170人	100.3%	A
	④ 新規登録者数	3,000人	2,916人	97.2%	B
	⑤ 新規登録者数に占める オンライン新規登録者数の割合	7.5%以上	3.3%	44.0%	C
	⑥ 個人貸出冊数	790,000冊	721,534冊	91.3%	B
	⑦ 全貸出数に占める課題 解決支援コーナー総貸出冊数の割合	7.5%以上	7.4%	98.7%	B
	⑧ デジタルライブラリー アクセス数	437,000件	620,797件	142.1%	A
	⑨ レファレンス件数(クイック レファレンスを除く)	1,300件	1,712件	131.7%	A
	⑩ 協力貸出冊数	6,000冊	5,990冊	99.8%	B
	⑪ 児童団体貸出・ 学校支援文庫貸出冊数	9,000冊 団体3,200冊 学校5,800冊	8,143冊 団体3,283冊 学校4,860冊	90.5%	B
	⑫ 県内公共図書館職員向け 研修満足度	90%以上	94%	104.4%	A
	⑬ 来館者満足度	90%以上	89%	98.9%	B
3. 読書普及活動の充実	⑭ ホームページアクセス数 (図書館トップページ)	355,000件	392,933件	110.7%	A
	⑮ 展示等の実施回数	60回以上	79回	131.1%	A
4. 文化活動の推進	⑯ イベント、講座、研修会 等の開催回数	20回以上 (うち子ども 向け7回以上)	29回 (うち子ども 向け9回)	145.0%	A (A)

評価A: 数値目標を達成した(達成率100%以上)  
 評価B: 数値目標を概ね達成した(達成率80%以上100%未満)  
 評価C: 数値目標を下回った(達成率80%未満)

## II 図書館評価の達成状況

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	① 蔵書冊数	1,145,000冊	1,145,346冊	100.0%	A

### <達成状況等>

- 蔵書については、資料受入冊数が15,966冊（内訳：購入12,004冊、寄贈3,739冊、再用・その他223冊）で、廃棄冊数が488冊となり、差し引き15,478冊増加して蔵書冊数が1,145,346冊と、数値目標を346冊上回った。
- 特に、県民の課題解決に役立つ資料を提供するコーナーの充実のため、県民が生活上、仕事上に役立つ資料や社会的に関心の高い資料に留意して収集したほか、調査研究に必要な専門的な資料、郷土資料、児童資料を重点的に収集した。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
1,099,069	1,114,739	1,129,868

### <今後の取組み>

- アンケート調査における図書館への要望として、「新しい図書や雑誌の充実」が最も多く寄せられていることから、課題解決支援の資料、郷土資料、児童資料に加え、本県の中核図書館として市町立図書館を支援するための資料などを重点的に収集する。
- 郷土資料及び児童資料については、引き続き優先的に購入する一方、文芸書は定評のある著者の作品や受賞作、書評等に取り上げた作品を中心に収集し、家政、芸術、趣味など、類書が多数出版される分野については厳選して収集するなど、適切な資料の収集・保存に努める。
- デージー資料や大活字本、朗読CDといった、読書に障害がある方のための資料充実に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
1. 図書館資料の整備充実	② 郷土資料受入冊数	2,250冊	1,853冊	82.4%	B

### <達成状況等>

- 郷土資料の受入冊数については、県、市町及び関係機関等に対して行政資料の寄贈を積極的に呼びかけたほか、香川県に関する幅広い分野の資料を購入するなど郷土資料の充実に努めたが、数値目標を▲397冊（▲17.6%）下回った。
- 郷土資料の受入冊数の内訳は、購入340冊、寄贈1,460冊、再用・その他53冊となった。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
2,362	1,981	2,315

### <今後の取組み>

- 一般に流通しない郷土資料が多いため、行政機関や県民に寄贈を呼びかけるほか、郷土資料の発行についての情報収集を進め、県内全域にわたる幅広い分野の資料の積極的収集を図る。
- 収集した郷土資料については、子どもから大人まで活用できるよう資料整備を進めるとともに、貴重な文化資源として永年保存に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	③ 入館者数	400,000人	401,170人	100.3%	A

<達成状況等>

- 入館者数は、数値目標を1,170人(0.3%)上回り、昨年度に引きつづき40万人を超えた。
- 一日平均の入館者数をみると、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館した令和2年の1,282人を経て、令和3年度以降は1,350人前後で推移している。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
409,783	396,949	400,964

<今後の取組み>

- 人生100年時代を見据え、人生の各場面で生じる個人や社会の課題解決につながるよう、県民の生涯学習活動を支える基盤として、読書や調査研究の機会を提供する機能強化を図る。
- 当館の本来の機能である資料・情報の提供を確実に実施するとともに、市町立図書館や関係機関、ボランティア団体等との連携を一層密にし、新たな取組みを模索する。
- 瀬戸内の島々などでの読書や体験活動等を通じて、子どもの心の成長を育み、思い出に残る体験を提供する子ども図書館船事業への協力を通じ、図書館への注目を集め、来館者増に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	④ 新規登録者数	3,000人	2,916人	97.2%	B

<達成状況等>

- 新規登録者数は、令和5年度比で153人(5.5%)増加したものの、数値目標を▲84人(▲2.8%)下回った。
- 年代別の新規登録者数を令和5年度と比較すると、0～12歳：+71人(+8.8%)、13～18歳：▲3人(▲2.1%)、19～39歳：+49人(+4.9%)、40～59歳：+45人(+8.7%)、60歳以上：▲9人(▲3.1%)となっており、中高生と60歳以上を除く世代で増加がみられた。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
3,334	3,060	2,763

<今後の取組み>

- 香川大学図書館や香川産業頭脳化センターなど関係機関において県立図書館をPRするポスター掲示やチラシ配布を行うほか、見学のため来館した小学校や幼稚園等の児童、教育関係者に対して図書館利用方法を案内するなどさまざまな取組みを通じて、新規登録者数の回復傾向に弾みをつける。
- オンラインによる「利用者登録申請」の積極的な広報に努め、比較的若い世代や多忙な方の新規登録を推進する。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑤ 新規登録者数に占めるオンライン新規登録者数の割合	7.5%以上	3.3%	44.0%	C

<達成状況等>

- 個人の新規登録者2,916人のうち、スマートフォン及びwebサイトからのオンライン新規登録者は97人、率にして3.3%に留まり、新規登録者数に占めるオンライン新規登録者数の割合は、数値目標に届かなかった。
- オンライン利用者登録者を年代別に比較すると、0～12歳：3人(3.1%)、13～18歳：1人(1.0%)、19～39歳：43人(44.3%)、40～59歳：34人(35.1%)、60歳以上：16人(16.5%)であった。

5年度実績
6.4%

※令和5年12月から開始

<今後の取組み>

- デジタル技術を活用したサービス充実の方策であるオンライン利用者登録申請については、さらなる積極的広報に努める。
- オンライン上での申請手続きを分かりやすく案内するガイドを作成して、新規登録者数増加を目指す。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑥ 個人貸出冊数	790,000冊	721,534冊	91.3%	B

<達成状況等>

- 令和6年度の個人貸出冊数は721,534冊であり、数値目標に対し▲68,466冊（▲8.7%）であった。個人貸出冊数については、令和4年度以降3期連続の対前年度比減となった。
- 年代別の個人貸出冊数を令和5年度と比較すると、すべての年代で減少したが、減少率には年代で差があり、0～12歳：▲3.2%、13～18歳：▲10.0%、19～39歳：▲0.7%、40～59歳：▲5.5%、60歳以上：▲0.8%となり、13～18歳の貸出冊数の落ち込みが顕著であった。
- 令和5年度に、はじめて全体の30%を超え年代別貸出で1位となった60歳以上の貸出冊数が、令和6年度は、更にその割合をのばし31.1%となった。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
857,678	802,661	741,992

<今後の取組み>

- 地域の課題解決や社会人の学び直しに対応するため、日常生活や仕事に役立つ資料、社会的に関心の高い資料、調査研究に必要な専門的資料など利用者の多様なニーズに応える資料の収集に努める。
- 多彩なテーマによる所蔵資料の展示など、幅広い層の利用者に対し魅力ある資料をアピールする取組みを行い、利用者と図書を結びつけることなどにより、貸出冊数の増加につなげる。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑦ 全貸出数に占める課題解決支援コーナー総貸出冊数の割合	7.5%以上	7.4%	98.7%	B

<達成状況等>

- 令和6年度の個人に加え図書館等団体への貸出を含む総貸出冊数731,456冊のうち、課題解決支援コーナー総貸出冊数は53,795冊（子育て支援コーナー17,565冊、健やか生活応援コーナー29,733冊、ビジネス情報・しごと応援コーナー6,497冊）、総貸出冊数に占める割合は7.4%となり、数値目標にわずかに届かなかった。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
7.8%	7.6%	7.5%

<今後の取組み>

- 課題解決に結びつく資料の積極的収集やパンフレット等による新鮮な情報の提供を行い、各コーナーのさらなる魅力向上に努める。
- 子育て世代のニーズに寄り添ったテーマ、中高年に多い病気や最新の医療・健康に関するテーマ、ビジネスに関わる人の関心の高いテーマでそれぞれ企画展示を実施し、資料の利用促進に繋げる。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑧ デジタルライブラリーアクセス数	437,000件	620,797件	142.1%	A

<達成状況等>

- 江戸時代から昭和時代に作成された絵図や文書など、当館所蔵の郷土資料をデジタル化してインターネット上で公開するデジタルライブラリーの令和6年度のアクセス数は、620,797件となり、数値目標を183,797件（42.1%）上回った。
- 12月に新たに19点のコンテンツを追加し、公開点数が465件となった。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
498,143	360,408	459,814

<今後の取組み>

- デジタルライブラリーを通じて貴重な郷土資料を手軽に利用ができるよう、公開コンテンツの充実に努める。
- インターネット上で学習や調査研究に活用できるデジタルライブラリーの積極的な広報に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑨ レファレンス件数 (クイックレファレンスを除く)	1,300件	1,712件	131.7%	A

<達成状況等>

- レファレンスについては、口頭及び文書による質問が増加し、数値目標を412件（31.7%）上回った。
- 内訳は、来館者の口頭での質問が1,041件、電話での質問が471件、文書での質問が89件、メールでの質問が111件であった。
- 資料や情報の探し方をテーマごとに案内する「香川県立図書館調べ方ガイド」を、新たに子ども向けに1テーマ作成した。
- 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」に、当館が登録した「レファレンス事例」や「調べ方マニュアル」に、令和6年度4,044,879件のアクセスがあった。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
1,470	1,275	1,259

<今後の取組み>

- レファレンスサービスに不可欠な参考資料や基本図書の一層の充実に努めるとともに、課題解決支援に役立つ情報を提供し、質の高いレファレンスサービスの提供に努める。
- 特定のテーマに関する資料や情報を探すための「調べ方マニュアル」作成を継続し、県民の調査、研究を支援する。
- 県民が調査や研究を行う際、インターネットを通じて、当館のレファレンス事例を容易に参照できるように、国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」への事例登録に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑩ 協力貸出冊数	6,000冊	5,990冊	99.8%	B

<達成状況等>

- 協力貸出冊数については、遠隔地の利用者に向けてホームページなどを通じ、協力貸出制度の周知に努めるなどした結果、令和5年度より385冊（6.9%）増加したが、数値目標には届かなかった。
- 協力貸出対象ごとに、市町立図書館へは5,938冊、公立図書館未設置町（直島町、琴平町）の公民館等へは52冊貸し出した。
- 協力貸出冊数の1館当たりの平均は182冊で、最多貸出館は790冊であった。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
6,672	6,038	5,605

<今後の取組み>

- 本県における中核図書館として、市町立図書館を支援するために必要な資料を重点的に収集し、市町立図書館への支援に努める。
- 引き続き、市町図書館を通じた協力貸出に関する積極的な周知に努める。
- 県立図書館と市町立図書館等における、協力貸出資料の搬送を行う協力便については、継続的に週2回の運行に努める。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑪ 児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数	9,000冊 団体3,200冊 学校5,800冊	8,143冊 団体3,283冊 学校4,860冊	90.5%	B

<達成状況等>

- 児童団体貸出・学校支援文庫貸出については、数値目標を▲857冊(▲9.5%)下回った。
- 学校支援文庫貸出冊数の内訳は、小学校版が4,580冊、中学校版が280冊であった。令和5年度と比較して小学校版の利用が▲680冊(▲12.9%)減少している。
- 児童団体貸出については、令和5年度と比較して▲62冊(▲1.9%)減少した。
- 学校支援文庫については、県教育センターでの「新規採用教員研修」や「新任司書教諭研修」においてセット内容や利用方法を周知するとともに、県情報ネットワーク(庁内LAN)の掲示板において時宜に合ったセットを紹介するなど、利用促進に努めた。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
8,958冊 団体2,818冊 学校6,140冊	9,307冊 団体3,509冊 学校5,798冊	8,905冊 団体3,345冊 学校5,560冊

<今後の取組み>

- 生涯にわたり、自ら学ぼうとする習慣を身に付けることの重要性が増すなか、子どもの読書習慣確立に向け、児童団体貸出及び学校支援文庫の利用促進を図る。特に、学校支援文庫については、これまで同様、小学校及び中学校の教員研修の機会を捉えた周知に取り組む。
- 学校支援文庫については、学習指導要領に沿った新しいテーマのセットを作成するとともに内容の古くなったセットの更新を行う。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑫ 県内公共図書館職員向け研修満足度	90%以上	94%	104.4%	A

<達成状況等>

- 県内公共図書館職員向け研修満足度は、研修会及び県図書館大会での参加者アンケートの結果に基づき、関心の高いテーマや時宜に応じた内容で研修会等を開催した結果、数値目標を4%上回った。
- 県図書館協会の予算を有効活用し、遠方在住の著名な大学教授等を講師として積極的に招くなどしたが、参加者の満足度が高かった要因と思われる。

過年度の記録なし

<今後の取組み>

- 市町立図書館職員の専門的な知識・技術の習得を目的に開催する研修については、参加者の満足度が高められるよう、引き続き要望の多いテーマや時宜に応じた内容で開催する。
- 研修開催に際しては、テーマ・内容に合わせて開催規模や実施方法を柔軟に変えるなどして、研修会の一層の充実を図る。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
2. 図書館サービスの充実、強化	⑬ 来館者満足度	90%以上	89%	98.9%	B

#### <達成状況等>

- 来館者満足度は、数値目標に1%届かなかった。
- 令和7年2月4日(火)～2月9日(日)の6日間、来館者及び非来館者を対象にアンケート調査票及び香川県電子申請・届出システムにより「図書館利用に関するアンケート」調査を実施した。615人(18歳以下60人(9.8%)、19～39歳99人(16.1%)、40～59歳175人(28.4%)、60～74歳192人(31.2%)、75歳以上86人(14.0%)、無回答3人(0.5%))の回答のうち、当館サービスの満足度についての質問に対して、満足296人(48.1%)、やや満足249人(40.5%)との回答を得た。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
88%	89%	91%

#### <今後の取組み>

- アンケート調査結果において、当館サービスを評価する点としてあげられた、「所蔵資料について」「閲覧室内の快適性」や「職員の対応」については、引き続き、高い評価が維持できるよう適切な施設管理、親しみの持てる利用者対応に努める。
- 特に、アンケート調査で要望が高い「新しい資料の充実」をすすめるため、資料購入費の獲得に引き続き取り組み、より一層の来館者満足度向上を目指す。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑭ ホームページアクセス数(図書館トップページ)	355,000件	392,933件	110.7%	A

#### <達成状況等>

- ホームページアクセス数については、数値目標を37,933件(10.7%)上回った。
- 内訳は、Webサイト314,514件、スマートフォンサイト48,942件、市町立図書館用サイト29,477件となった。
- 令和5年12月の図書館情報システム更新時に、オンライン利用者登録申請や貸出履歴の保存などの新規機能を導入し、ホームページの利便性向上を図って以降、アクセス数は増加傾向にある。

3年度実績	4年度実績	5年度実績
352,351	352,743	366,670

#### <今後の取組み>

- 要望に応じて令和7年4月に開始したインターネットでの在庫資料の予約については、利用促進と安定運用に努める。
- さまざまな機会をとらえて効果的な広報に努め、より一層、ホームページ新機能の浸透を図る。また、引き続き、企画展示やイベントなどの開催情報をタイムリーに発信するほか、ブックリスト、調べ方ガイドなどのコンテンツ充実に取り組む。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
3. 読書普及活動の充実	⑮ 展示等の実施回数	60回以上	79回	131.1%	A

<達成状況等>

- 展示等の実施については、各コーナーにおいて、定期的な展示に加え、時宜をとらえた企画で随時実施し、数値目標を19回（31.1%）上回った。
- 県栄養教諭・学校栄養職員研究会やさぬき市へんろ資料館による企画展示など、県内のさまざまな団体と連携し多彩な展示に取り組んだ。

- ・展示コーナー企画展示等15回（うち他の機関と連携・協力した展示7回）
- ・イベント関連本展示等12回
- ・子育て支援コーナー企画展示4回
- ・健やか生活応援コーナーミニ展示7回
- ・ビジネス情報・しごと応援コーナーミニ展示6回
- ・Young Generation コーナーミニ展示など15回
- ・児童資料コーナー「今月の本」など17回
- ・雑誌コーナー「なつかしのバックナンバー」2回
- ・郷土資料コーナーミニ展示1回

3年度実績	4年度実績	5年度実績
70回	71回	78回

<今後の取組み>

- 新たな利用者の獲得や関連資料の貸出のきっかけとなるよう、今後とも、関係機関と連携・協力するなどして、利用者の興味を喚起する新鮮で魅力あふれる展示を企画・実施する。

重点目標	評価指標	数値目標	6年度実績	達成率	評価
4. 文化活動の推進	⑯ イベント、講座、研修会等の開催回数	20回以上 (うち子ども向け7回以上)	29回 (うち子ども向け9回)	145.0% (128.6%)	A (A)

<達成状況等>

- イベント、講座、研修会等については、開催回数29回(うち子ども向け9回)となり、数値目標を9回（45%）上回った。
- 移転開館30周年記念講演会「日常と非日常の交差点～万城目学が語る創作の秘密～」を開催して、162名の参加を得て、大いに図書館利用を促す機会となった。子ども向けにも30周年記念行事として、「カンヅメをつくって学ぼう！」を県立多度津高等学校の協力のもと開催し、好評を博した。
- 子どもの読書活動推進に取り組む人材育成のため、公共図書館・学校図書館の教職員等を対象とした「子どもと本をつなぐ講座」を開催した。他機関と連携した取組みとして、国際協力機構（JICA）のワークショップ・セミナーや県視覚障害者福祉センターの読書支援機器体験会を開催した。

- ・イベント16回  
子ども読書まつり2回、図書館コンサート3回、高校生の司書体験1回、中学生の図書館体験とゲーム大会1回、図書館探検2回、職員によるおはなし会3回、移転開館30周年記念講演会1回、他機関との連携による行事3回
- ・講座8回  
健やか生活応援講座4回、子どもと本をつなぐ講座2回、子育て支援講座2回
- ・研修会等5回  
図書館職員研修会（初任者研修1回、専門研修1回）、香川県図書館大会1回、実務担当者会2回

3年度実績	4年度実績	5年度実績
23回	25回	20回

<今後の取組み>

- 子どもから大人まで幅広い年代の利用者が参加でき、図書館への理解を深めたり、自主的、自発的に学習することができる催しを企画し開催する。
- 子どもの読書活動推進に取り組む人材育成として、令和7年度は、読み聞かせから一人読みへのスムーズな移行をどのようにしてサポートするかについて学ぶ講座を開催する。
- 子ども図書館船事業に協力し、関連イベントを通じて図書館や読書への興味を喚起し、子どもの読書活動推進を図る。

### Ⅲ 外部評価

令和6年度図書館評価の達成状況については、令和7年7月8日開催の令和7年度第1回香川県立図書館協議会において、委員の外部評価を受けた。

<委員からの意見>

- 「⑤新規登録者数に占めるオンライン新規登録者数の割合」がC評価となっている。この評価指標は、ICTを活用したサービスの充実という重点目標の達成状況を評価する目的で採用されているが、果たしてこの指標が、目標達成の程度を評価する指標になっているのかどうか、県立図書館が今後向かうべき方向性と照らし合わせて検討を要するのではないかな。
- 電子書籍の普及が進むなか、今後、当館が非来館で完結する電子書籍サービスに重点を移すのか、あるいは従来どおり来館する利用者への紙の本の提供を基本とするのか、そうした図書館の存在に関わるビジョンが必要である。
- 「⑥個人貸出冊数」について13～18歳の利用が前年度比で1割減少している。こうした世代への図書館利用促進策として、ホームページだけでなく、SNSを用いた広報も効果的ではないかな。
- 「⑩児童団体貸出・学校支援文庫貸出冊数」のうち学校支援文庫（小学校版）の利用冊数が、前年度比で1割を超える減少となっているが、運営の改善のためには、文庫の普及に問題があると捉えるのか、あるいは、学校側での図書の十分な整備が進んだ結果なのかなど、貸出減少となった原因の分析が必要ではないかな。また、学校現場に増えつつある若い教員に対して、タブレット端末では得られない、網羅的・総括的に調べることのできる図書資料の良さなどアピールの仕方を工夫することで、文庫の活用につながるのではないかな。